

1 家庭における読書活動の事例

<家庭における取組>

- ①家族をつなぐ読書のススメ《家庭での取組》 P10
- ②ブックスタート事業《横須賀市立中央図書館》 P11

【コラム】

- セカンドブック事業《綾瀬市教育委員会生涯学習課》 P12



①家族をつなぐ読書のススメ

1 活動の概要

家族で、映画鑑賞後に原作本を読み、感想を交わし合う。このほか、音楽やスポーツ、学校生活や部活、家族旅行など、平日頃同じ生活空間で、ともに過ごしているからこそ、共有できる話題を読書につなげる。

2 活動の状況、実際

【家族での取組】

- ①家族で映画鑑賞をする。
- ②原作本や関連本を読む（読み合う）。
- ③感想を交流し合う。

①～③を行うことで、家族でのコミュニケーションのきっかけになる。また、同じ空間で本を読むと、より読書習慣が図れるようになる。

さらに、家族が集まる空間に本を置くことにより、本がすぐそばにある環境を作り出し、「本を読もう。」という気にさせる。

子どもは、大人が言ったように、思っているようには動かないことが多い。大人が、本に親しむ姿勢や本が身近に感じられるように工夫をすることで、読書への興味・関心を高めるきっかけとなる。



家族共有の本棚
(映画の原作本や関連本が収められている。)

3 今後の取組、目標

映画鑑賞だけでなく、ドラマ、スポーツやテーマパークへ行った後など、様々なことに関連付けて、読書へとつなげていくことも考えられる。

実際に、撮影場所をめぐるたり、作品のモチーフになっている場所を訪ねたりして、子どもがより興味がわくような様々な工夫した取組をすることもできる。

4 参加者、指導者のコメント



保護者

家族でのコミュニケーションのきっかけにもなり、家庭内での読書習慣の形成が図れるようになった。



子ども

心に残った映画は、家族で感想を話すことで、原作本も読んでみたくなった。

②ブックスタート事業

1 活動の概要

横須賀市では、乳児がはじめて本と接する機会をつくることを目的として、2002年（平成14年）から図書館が事務局となり、BCG接種時に赤ちゃんと保護者にブックスタートパックを渡し、読み聞かせを行っている。

2 活動の状況、実際

【ブックスタートの会場数】

- ・横須賀市内で6か所。

【読み聞かせをする人】

- ・ブックスタートボランティアに所属している方々。

【子どもの反応】

- ・子どもによって様々であり、声を出して笑う赤ちゃんもいれば、泣き出す赤ちゃんもいる。

絵本2冊・おすすめ絵本リスト・イラストアドバイス集、図書館利用案内などがセットになって入っている。絵本は定期的に変えている。



会場入口



読み聞かせ会場の様子



ブックスタートパックの絵本

3 今後の取組、目標

ブックスタート時（乳児期）と義務教育時期（学童期）をつなぐ事業の実施が課題である。課題解決の一つとして、2018年度（平成30年度）から、3歳児へのブックリストの配付を実施している。

4 参加者、指導者のコメント

【指導者（主催者）】

各図書館で実施している幼児向けおはなし会は、年々関心が高まっており、参加者の増加に結びついている。

【参加者】

絵本と一緒に図書館での催しの日程表ももらい、参加したいと思った。



【コラム】

セカンドブック事業
(綾瀬市教育員会生涯学習課)

綾瀬市では、2011年(平成23年)9月から実施している4～5か月児健診時に絵本を配付する「ブックスタート事業」に続いて、新小学1年生全員に絵本を配付する「セカンドブック事業」を行っている。

4月に学校を通じ、5冊の絵本の中から1冊を選んでもらい、7月に絵本を配付している。

5冊の本は、当市が指定した書籍となる。

親子で本に親しむ機会や子どもたち自身が本に出会う機会を提供することを目的に行っている。

